



新政会
山口 清悦
議員

解決すべき課題について

質問 地域における重要課題はどのように認識しているか。

答弁 各分野ごとに地域における課題は存在し、すべてが重要課題だと考えています。その中でも、人口減少と少子化・高齢化への対応、公共施設のあり方、経済の活性化、農業の担い手対策、広域連携の推進などは、特に重要な課題になると思われます。しかしながら、どれ一つとっても、一気に課題解決が図られるものではないことから、当面、24年度に実施する施策・事業について、市政執行方針ならびに関連予算として計上させていただきました。

広域行政について

質問 空知・中空知での広域連携は滝川市がリーダーシップを発揮すべきと考えるが、市長の決意を伺う。

答弁 さらなる広域連携の推進に向け、近隣市町と同じ目線に立ち、協議、検討していく必要があると考えていますし、それぞれのまちと協調しながら、中空知の中心都市として、中空知、空知地域の繁栄に積極的に関わっていききたいと考えています。

また、新たな広域連携の実現に向け、広域連携の一つの形として財源措置のある「定住自立圏」の手法も視野に入れながら、北海道の協力も仰ぎ検討していきたいと考えています。しかしながら、相手がある話でもありますので、いち早く、その環境づくりができるよう努力していきたいと考えています。

災害対策について

質問 災害時応援協定の現状と不足部分の認識について伺う。

答弁 救急医療の相互応援が2協定、エフエムG、sky等の災害広報活動が6協定、食料・日用品等の供給が4協定、燃料供給、業務支援が3協定、仮設トイレ、移動式暖房機、発電機などの機器の

調達に1協定、避難所提供や人的支援に1協定と計17協定を結んでいます。また、北海道においては、各分野にわたり合計45協定を結んでおり、市町村にも提供を受けられることになっています。

今後においても災害時に備えて市内業者や全国展開している企業等との連携を進め、応急対策を強化していきます。



防災訓練

財政問題について

質問 来年度予算作成における繰入金算入と基金取り崩し、財政健全化指標への影響について伺う。

答弁 新年度予算は、基金より5億2、450万円の繰り入れを見込んでいますが、「ごみ処理施設建設費積立基金」からの1億6、600万円は、あらかじめ建設年度に繰り入れを行うことを想定し積み立てしてきたものです。一方、今回の補正予算で23年度当初見込んでいた基金繰入金のうち、9、283万円の繰り入れストップと新たに2億1、500万円の基金積立を補正したところであり、実質的な基金残高減とはなっていないと考えております。

基金残高の減少は財政健全化指標の将来負担比率に影響しますが、地方債残高も減少することから、比率としては余り変動しないものと見込んでおります。



第1予算審査特別委員会